

事例 11

わたしたちの摩当川大探検隊

DATA
 場 所：秋田県北秋田郡鷹巣町
 実 施 者：能代工事事務所 地域づくり相談室 [TEL (0185) 52-6211]
 参 加 者：鷹巣町立東小学校3年生 26名
 実 施 日：平成12年5月～11月
 学 習 時 間：全35時間

関係する分野
 環境 交通 社会 地域 歴史 福祉 健康

背景

鷹巣町立東小学校では地域を流れる「摩当川」を通して、歴史や自然を知るとともにこの地域の人や川と関わりのある人たちと交流を深め、実際の活動や体験からこの地域における自分達の役割などを考えてみようとして計画していたところ、摩当川水門工事が着手されたのを契機に、学習を行うこととなりました。

内容

平成13年6月16日には摩当川水門工事の施工業者の協力により、工事現場見学会「現場体験!!」を実施。子供たちは実際に工事に関わっている方々に水門工場の現場案内を受けながら、今回の工事を含めた公共事業が私たちの生活に果たす役割について学びました。また、施工業者が定期的に鷹巣町立東小学校向けの豆新聞を発行し、工事の進行状況や働く人たちの様子などを伝えています。

成果

施工業者の協力により、見学会の開催や、着工から一貫して定期的に豆新聞を発行するなど、公共事業への関心と理解を深めて頂きました。これらの活動は現在も継続しており、子供たち、また子供たちを通じた地域住民の方々と現場の人々との重要なコミュニケーションともなっています。



参加者全員で記念撮影



素朴な質問や疑問にも丁寧に答えが返ってきます



建設機械に初めて乗った時の感動は忘れません



真剣なまなざしで説明に耳を傾けます



鷹巣町立東小学校発行の父兄向け通信にも紹介されました

工事事務所発行のまめ新聞「摩当川」は学習資料として活用されました



ポイント

- 子供たちにとって身近な「摩当川」での工事現場における現場見学会などによって、公共事業について学びます。
- 現場での説明は工事現場の生の声として、実際に工事に関わる方をお願いしています。
- 豆新聞の定期的な発行により、現場見学会だけで終わらない継続した学習・双方のコミュニケーションとなるように配慮しています。
- 建設現場や建設機械を直に見学し、ものづくりの魅力や大切さを感じてもらいます。

次のステップに向けて

- 現場見学会だけではなく、その後も定期的に豆新聞を送付するなど、学習をフォローし、その中から新たな学習を見つけ出すことも考えられます。